

みどり園からのお知らせ

もう一度確認 リサイクルごみ!(その2)

～出すときの注意点～

今回は、対象となっているものそれぞれの、出すときの注意点をもう一度確認してみましょう。

チェック 1 ペットボトルの出し方は?

まず、キャップを取り、ラベルをはがしてください(これらは「燃えるごみ」へ)

- ・キャップやラベルがついたまま出されているのが見受けられますが、キャップやラベルは成分構成の異なったプラスチック素材です。
そのため再製過程において、特にペット樹脂の純度が問われるペットボトルは、キャップを取り、ラベルをはがしておくとしやすくします。
ラベルも最近ではよく見ると切り取り線が入っていたりするなど、はがしやすい工夫がされているものが増えてきていますのではがすのを忘れないようにしてください。
- ・しょうゆなどの中栓は同じペット樹脂でできている場合が多いので、無理に取る必要はありません。

中身の飲み残しなどが残らないように、軽くすすいでください

- ・食器を洗ったあとの残り水なども利用しましょう。
- ・中身が残っていたり、たばこや油類、薬品類などを入れて使用したものは、せっかく分別しても再資源としての純度が落ちるため、リサイクルできなくなりますので注意してください。

『ボトルtoボトル』!!

今のところは衣類や雑貨製品などへのリサイクルが主ですが、ペットボトルそのものに再製するための技術研究が進められています。

そのためにも、マナーを守った排出を心がけましょう。

すすいだあとは、水をよく切ってからリサイクル用(黄緑色)の指定袋に入れてリサイクルごみの収集日に出してください

チェック 2 その他のプラスチックボトルや空きビン類の出し方は?

ペットボトルと同じ手順で排出してください

- ・コルクやプラスチック製のキャップやラベルは、「燃えるごみ」(赤色袋)へ入れてください。
- ・金属製のキャップやふたは、「カン・小型金属類等」(青色袋)へ入れてください。
ビンのラベルではがしにくいものについては、無理にはがさなくてけっこうですが、最近ではコーヒーのビンなど、はがしやすくなっているものもありますので、まずは試してみましょう。

チェック 3 トレー類・カップ類・パック類の出し方は?

ラップ、紙フタ、バランなどの仕切り物、調味料袋や食べ残しの食品くずなどを取り除いてください(これらは「燃えるごみ」へ)

- ・コンビニ弁当のパックやカップめんなどで、食べたあとの食品くずや付属物を入れたまま袋に入れてあるのが見受けられますが、食べ残しや飲み残しはほかのきれいにされたごみの品質を落とす原因になり、リサイクル資源としての価値の低下につながりますので、手間と思わずにマナーを守って出しましょう。

食品くずなどが残らないように、軽くすすいでください

- ・食器を洗ったあとの残り水なども利用しましょう。

すすいだあとは、水をよく切ってからリサイクル用(黄緑色)の指定袋に入れてリサイクルごみの収集日に出してください